

平成 31 年 4 月 10 日

言葉だよりNo.1 (第 368 号)

本の楽しさ

皆さんは今までどのような本に触れてきましたか？本といっても、絵本や漫画、小説など様々な種類があります。中には小説が映画化されたり、漫画がテレビで実写化されて人気を集めているものもあります。

実は本は色んなところで繋がっています。私は以前、現代社会の宿題で、あるニュースについて調べました。そのニュースの題は「紙離れ、少子化なのに売れる絵本」。記事には「雑誌、単行本、新書と様々なジャンルの本がいずれも減少している。出版不況が続き、書籍も雑誌も総崩れの中、唯一とも言える成長を続けるのが絵本などの児童書だ。子供たちに本を読んであげようとする親・祖父母世代が増えてきたからだ」と書かれてありました。

皆さんはなぜ今、絵本が売れているのか分かりますか？絵本は、読む人とそれを聞く人が必要です。読む人は聞く人に本を読んであげることと一緒に物語を楽しむ事ができます。聞く人は、絵を見ながら耳で物語を聞く事で、より一層本の世界に入ることができ、本を楽しむことができるからこそ、絵本が売れているのだと思います。

私も以前までは本の楽しさが分からず、本を読むことがあまり好きではありませんでした。そのせいか、あまり本と触れ合ってきませんでした。ですが、本屋に行くたびに様々な本が置かれてあるのを見て「本を読みたい」と思うようになり、図書委員会に入れば、たくさん本と触れあうことができるきっかけになると思い、図書委員になりました。私はこれから様々な本を読みたいと思っています。そして図書委員として、これから皆さんに本の楽しさを伝えていけるように努めていきたいと思っています。

そして最後に、皆さんは朝読書の時間に、嫌々本を読んではいませんか？家に帰ってから時間がない人は、朝読書の時間を活用しましょう。本を読むことで、有意義な時間を過ごすことができます。ぜひ朝読書の時間は、本を楽しみながら読んでみてください。この原稿をきっかけに、本を読む人が増えたら嬉しいです。図書室には、様々な種類の本が置いてあります。皆さんの好きな本がきっと見つかるはずです。もちろん勉強が出来るスペースもあります。新しい本を読みたくなったときや、勉強したいと思ったときは、是非図書室に来てみてください。図書委員一同、お待ちしております。